

平成29年度

特別支援教室（拠点校）

「ほんごう学級」のご案内



中野区立中野本郷小学校

〒164-0012	東京都	中野区	本町4-27-3
	学校代表	TEL	03-3381-7255
		FAX	03-3381-7256
	ほんごう学級直通	TEL	03-3381-6781

平成 28 年度から、全ての中野区立小学校に特別支援教室が設置され、巡回指導の制度が始まりました。本校は特別支援教室の拠点校となります。巡回指導教員は桃園小、向台小、南台小、みなみの小にて巡回指導を行うとともに、本校の「ほんごう学級」で指導を行います。「ほんごう学級」は、平成 27 年 4 月、本校に設置されました。

<主な活動内容と時間割>

特別支援教室

各校の特別支援教室において巡回による指導を行います。巡回指導では、児童一人ひとりの課題を達成することをめざし、各校の特別支援教室において個別指導を中心に行います。指導では、児童の実態に応じて指導内容を工夫します。

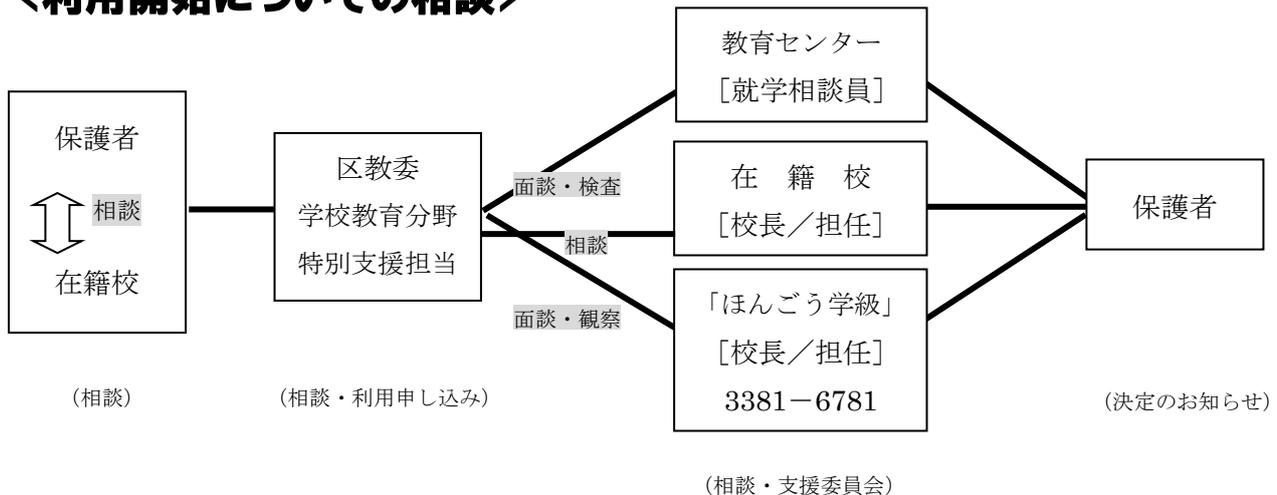
拠点校 (ほんごう学級) 午前指導 (開門時間 8 : 30 ~ 8 : 45 ・ 12 : 45 ~ 13 : 05)

		月・水・木・金	
8:30		登校	・あいさつをする。
	8:45	荷物整理	・手順に沿って、時間内に行う。 ・自由時間を過ごす。
1	運動タイム (グループ学習)	【運動】	・集団活動参加を練習する。 ・指示やルールを理解し、それに合わせて活動する。 ・身体意識や協調運動のコントロールの力を養う。 ・基礎的な運動技能を向上する。
	コミュニケーション タイム (グループ学習)	【学習の体勢、社会性、コミュニケーションの学習】	・今日の予定の確認をする(1日の見通しをもつ)。 ・集団活動参加を練習する(着席行動、発言の仕方、情動の調整)。 ・指示やルールを理解し、それに合わせて活動する。 ・コミュニケーションや言葉の学習をする。
	中休み	自由遊び 気持ちの切り替え 友達とのかかわり	
	3	個別タイム	【一人ひとりの課題に応じた学習】
4	ほんごうタイム (グループ学習)	【学習動作(聞く、話す、読む、書く)】 【制作、生活スキル、栽培と調理活動、音楽的活動、コミュニケーションの学習】	・集団活動参加を練習する(役割や活動の遂行、情動の調整)。 ・生活スキル、微細運動や粗大運動、用具や道具の扱う力を養う。
	給食	・手洗い・うがいを行う。 ・準備と片付けを行う。 ・食事のマナーを守る。 ・適切な話題を選んで話す。	
13:00		終わりの会	・手順に沿って、帰りの支度を時間内に行う。

拠点校 (ほんごう学級) 午後指導 (開門時間 13 : 20 ~ 13 : 35 ・ 15 : 15 ~ 15 : 30)

2時間の指導で、グループ学習、個別課題学習を行います。

<利用開始についての相談>



平成28年度の学習活動の紹介① 運動タイム

「ほんごうランド」



「ほんごうランド」では、バランスランド、ボールランド、くるくるランドの3つの場を設け、サーキット形式で運動を行いました。

トランポリンやバランスボードなどを使い、用具を操作する運動、バランスをとる運動などを取り入れました。子どもたちは、楽しみながら活動し、伸び伸びと体を動かしていました。

「スポーツチャレンジ」(体カテストに向けての学習)



4・5月は、基本の運動を行うとともに、在籍校の運動会や、体カテストに安心して臨めるようになるための学習活動を行いました。

スポーツチャレンジでは、反復横跳びなどのやり方を確認し、実際にやってみました。子どもたちは自信をもって取り組めるようになりました。

「風船バレー」「キャッチバレー」



6・7月は、低・中学年は「風船バレー」に取り組みました。風船や友だちの動きをよく見て打っていました。高学年は「キャッチバレー」を行いました。仲間にパスをする回数が増えるほど、点数が高くなる可能性があるルールです。試合展開によって攻撃の方法を変えるなど工夫する姿が見られたのが良かったです。

「マット運動・跳び箱運動」



マット運動では、横転がりやかえるとび、川跳びなどをサーキットで取り組みました。前転や後転などにつながる感覚運動を行いました。

跳び箱を使った運動では、①両足でトンと踏み切る②手をバンと遠くに付く③ピタッと着地することを意識できるよう、「トン・バン・ピタ」の合図で取り組み、記録を伸ばすことに挑戦しました。

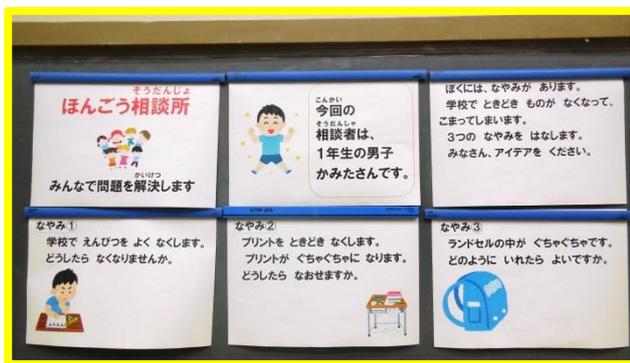
平成28年度の学習活動の紹介② コミュニケーションタイム

ワンポイント「ていねいな言い方で話しましょう」



1月は「ていねいな言い方で話しましょう」について扱いました。2週にわたって、ていねいな言葉に言い換えたり、どのような人や場面のときにていねいな言葉を使ったらよいかを具体的に考えたりする活動を行いました。ワンポイントの学習を生かせるように、ていねいな言い方が必要となる場面で声を掛けています。

ワンポイント「整理整頓をできるようにしましょう」



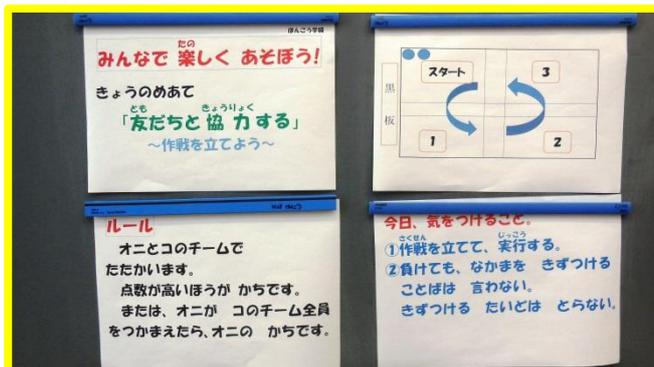
整理整頓に悩む1年生へアドバイスをするという設定の元で考えました。話し合う中で、一人ひとりの工夫が見えました。ポイントとして、①プリントは、角と角を合わせて、きれいにおりたたむこと、②ランドセル、机、筆箱の中に、それぞれ何をどのようにしまうのかを決め、時々確かめることを学びました。

コミュニケーション活動「気持ちビンゴ」



「たのしい」「おこる」「さみしい」「ドキドキする」「あせる」「うれしい」「まんぞくする」など、さまざまな気持ちをビンゴシートに書いてゲームを行いました。ゲームでは、その気持ちを感じた時のエピソードを話しました。自分の気持ちを言葉にして相手に伝えることは、感情や行動を調整していくときの大切な力となります。

コミュニケーション活動「十字おに」



十字おには、ルールを守って活動すること、作戦を立てて実行することをめあてにして行いました。十字ゾーンを走る鬼に捕まらずに一周すると、1点もらえます。子どもたちは鬼チームに負けたときには、自然と話し合いをし、ゲーム中の互いの役割を相談し合う姿が見られました。協力する良さを体験できました。

平成28年度の学習活動の紹介③ ほんごうタイム

「結びの名人になろう」



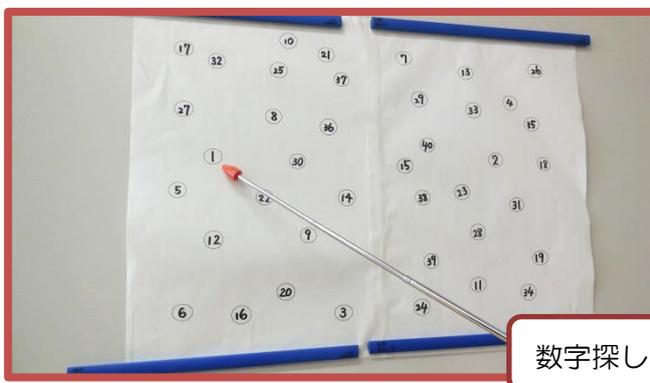
ごみ袋を結ぶ、ひもをかた結びする、短なわを結ぶ、ちょう結びをする、ふろしきで包むなど、生活に必要な結ぶ技術について扱いました。子どもたちは、やってみたい結び方を選び、実際のやり方を見たり、解説写真を参考にしたりして、練習しました。最後は、30cmほどのたこ糸を輪ゴムに4本結び、そのゴムを使って、2人で協力する遊びを楽しみました。

「たたみの名人になろう」



ていねいにたたむことの良さを感じ取り、生活に活かしてほしいと考え、学校生活や宿泊行事で必要となるたたむ技術を身に付けることをめあてにした活動をしました。傘、シャツ、ハンカチ、白衣、シーツ、毛布などをたたみました。活動の最後に、テープを使わずに新聞紙をたたみ、非常用のスリッパを作りました。

「ほんごうビジョンランド」



「数字探し」「スーパーボールキャッチ」「まねっこゲーム」など、動きのあるものを見る力や、手指を操作する力を高めることを目的にした活動を行いました。

「あやつりビー玉」は、裏返しにしたお盆の上に置いたビー玉を落とさずに、平均台を渡りきることが目標です。子どもたちは体の使い方を工夫し、バランスをとりました。

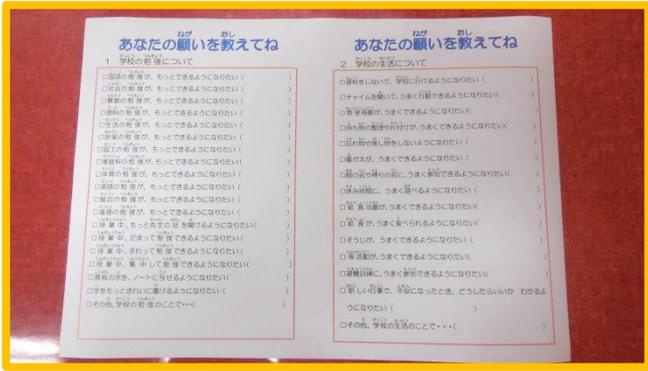
「紙円盤を飛ばそう」



割り箸2膳とゴムと厚紙を使って、紙円盤飛ばしをしました。活動の目標は、「説明を聞きとり作り上げる」「困ったら、先生に相談する」「コンパスなどを使い、円を描く」などでした。子どもたちは作業手順を知り、円盤の形などを工夫しながら作りました。作って飛ばせた喜びとともに、友だちのかかわり合いが自然と生まれ、ともに楽しめたことも良かったです。

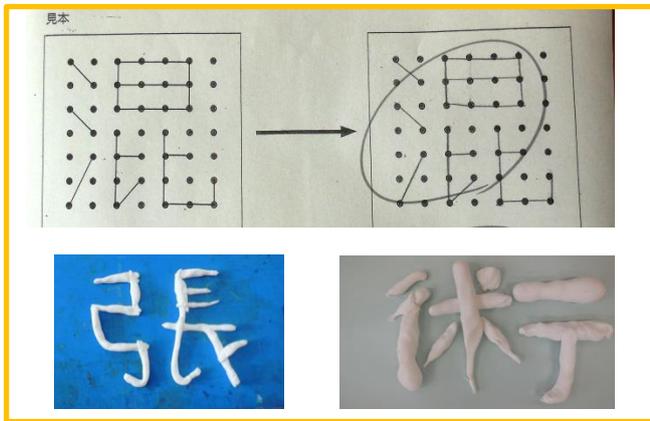
平成28年度の学習活動の紹介④ 個別タイム

「自己紹介、自己理解」(「ぼく・わたしのプロフィール」「あなたの願いを教えてください」)



年度最初の個別タイムで、自分に関するの内容を書き表す学習をしました。一人ひとりに応じて、生年月日、似顔絵、好きなもののランキングを書いたり、また、チェックシートを通して、自分とはどのような成長への願いをもっているか考えたりしました。一人ひとりの願いを大切に、学習内容を設定しています。

「漢字の学習」①



子どもたちの中には、漢字を学習することがあります。上の写真は、見本と同じように、定規を使って点をつないだものです。正確に写し書きしました。

下の写真は、粘土で作った作品です。見本を見ながら、線や点の数、止め、はねなど、細部に注意をして作りました。

「漢字の学習」②



教科書の新出漢字を覚えるために、漢字どうしを組み合わせ正しく熟語を作ったり、部首を覚えたり、漢字の一部分を隠し、正確に書ける練習をしたり、定着を図っています。

一人ひとりの得意な力を活かし、着実に覚えられるように支援しています。

「自分の目標に向けて学ぶ」



児童によって内容は異なりますが、後期前半は、2年生は算数科の九九、3・4年生は音楽科のリコーダー、4年生は社会科の都道府県や国語科の慣用句の学習を行いました。短時間であっても、継続的に設定することで学習が積み重なっています。クラスの学習に自信をもって臨めるように支援しています。